

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 108 2018.7.10

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

能海寛生誕 150 年

記念式典&記念シンポジウムを盛大に開催

能海寛生誕 150 年記念事業として、7月8日(日)午前 10 時 30 分から、ときわ会館にて記念式典が挙行されました。主催者あいさつで、研究会岡崎会長より式辞、続いて、研究会発足当初から支援されてきた学術顧問・顧問のお方に感謝状が贈呈されました。浜田市長(近重副市長代読)、岡本昭二県議会議員の皆様から来賓祝辞を、大屋俊弘県議会議員、岡本昭二県議会議員、須山隆県議会議員、芦谷英夫市議会議員の皆様からの祝詞が披露されました。式典の後、NHK 松江放送局制作(S58)の『悲運の探検家 能海寛』(30 分番組)が放映され中村元博士と能海寛の関係や能海の業績のよくわかる内容でした。



岡崎会長の式辞



江本嘉伸氏の受賞の様



近重哲夫副市長



岡本昭二県議



式典の様

午後 1 時から、記念シンポジウム『世界仏教への道』をテーマにして開催された。当日は、県内外から 92 名の参加者を迎え、盛會に記念事業が開催された。

第一部、基調講演では、『能海寛が日本の若者に伝えたかったこと』と題して、「地平線会議」代表世話人の江本嘉伸氏の講演が行われた。能海寛の意志を汲んで 40 年間にわたり能海の研究と、地平線会議の活動をしている模様やチベットの貴重な風景写真資料を映写して披露され、山の日の祝日を中山間地の里山のフィールドを活かし、能海を精神を活用すべきと提言された。

第二部、「今、能海寛に学ぶもの」と題して、パネルディスカッションが開催された。パネラーの 4 名の皆さんによる個別の講演、岡崎秀紀会長は『世界に於ける仏教徒』を学んで、奥山直司氏(高野



生誕 150 年記念シンポジウム・パネルディスカッションの様様／同会場の様様



山大学副学長)は『能海寛と明治仏教界の改革運動』、飯塚勝重氏(東洋大学客員研究員)は『能海寛が目指した宗教学』、能海教信氏(浄蓮寺住職)は『今後の地域づくりに能海を活かす』として、それぞれ発表された。パネル自由討議では、江本嘉伸氏のコーディネーターにより、パネル4名による活発な討論が行われた。

第24回年次大会／第6回チベットセミナー開催

7月7日(土)午後1時より、「第24回年次大会」を金城町波佐・ときわ会館で開催された。年次総会で芦谷英夫浜田市議会議員より祝辞がありました。

年次総会の後、午後2時より、「第6回チベットセミナー」が同会場で開催され、岡崎秀紀会長が「『世界に於ける佛教徒』の研究」、隅田事務局長が「能海寛と古河勇の新仏教徒運動」、会員の植田義法氏が「能海寛の『空』で想像する『平面』」の発表がありました。

